

2024.11.8時点

令和6年度 第1回 球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会



令和6年11月11日



人吉市



国土交通省 八代河川国道事務所

(1) これまでの取り組みについて（前回協議会以降の報告）

■令和6年度第1回実行委員会（令和6年5月9日）

実施概要

- 日 時: 令和6年5月9日（木）15時00分～16時30分
場 所: 人吉市保健センター 2F 多目的室
会次第:
1. 開会
 2. 議事
 - (1) 目的とスケジュール
 - (2) 今年度の進め方
 - 1) 協議会の振り返り
 - 2) 手交式報告
 - 3) 今年度のかわまちづくりの進め方
 - 4) 川の安全教室（社会実験）の実施について
 - (3) 社会実験について（意見交換）
 - 1) 民間事業者等が営業活動を行うことができる「特区指定のスキーム構築」の事例紹介
 - 2) 意見交換
 3. その他
 4. 閉 会

協議内容

- ・Safety Kid'sLaboさん協力のもと7月21日実施予定の「川の安全教室」を社会実験と位置づけ、実行委員会が主催として実施することの承認を得た
- ・川の安全教室についての意見交換を行った。
- 頂いた意見は実施計画書に反映。「川の安全教室」実施報告は別冊参照。
- ・今後の進め方として、特区指定に関する意見やどのような社会実験が必要かなどの意見交換を行った。主な意見は右記参照。

所 属	出 欠
人吉商工会議所 青年部	○
人吉温泉観光協会	○
人吉温泉旅館組合	○
球磨川ラフティング協会	○
球磨川漁業協同組合	欠
球磨川くだり株式会社	欠
きじ馬スタンプ協同組合	○
※事務局: 人吉市4、熊本県1、国土交通省八代河川国道事務所4	



■主な意見

- 【都市・地域再生等利用区域（特区）指定について】
- ・白川夜市のようなイベントが中川原公園できるとよい。
 - ・営業活動が賑わいの創出に繋がると思うので、**特区指定を目指すことに賛成**。
 - ・**オープン化を目指す前に、日常利用の検討とそれに伴う環境整備を優先**したい。
 - ・中川原公園で特区指定を目指す場合、**整備状況に応じた社会実験**を実施しながら段階的に進めていく必要がある。
 - ・民間事業者等に向け社会実験を公募する際には、整備状況を共有し、その状況での実施可否の判断が必要。
 - ・スキーム構築については、かわまちづくりの各整備箇所をとりまく状況や条件等を踏まえる必要があり、**各整備箇所ですキームを検討する必要がある**。
- 【今後の進め方について】
- ・**日常的な楽しみ方（散歩、ピクニック、魚釣り等）での利用向上と併せて観光にもつながるような整備**になるとよい。
 - ・**民間事業者や学生など、いろいろな人を巻き込んで議論を進めていきたい**。
 - ・今後は、人吉市が設置する**復興デザイン会議を軸にまわしていきたい**と考えている。各整備箇所については、タスクフォースに落とし込んで、各タスクフォースの中に関係する様々な事業者に入ってもらい、**かわまちづくりの具現化を復興デザイン会議で進めていきたい**と考えている。かわまちづくりだけでなく、まちづくりも進んでいるので、**連携して進めていきたい**。
 - ・使う人や団体、事業者等が使い方を想定し、**どういう整備であれば使えるか、使いやすいかを整備前から一緒に議論する必要がある**。ざっくばらんに意見を言える場が提供できるとよい。
 - ・**日常的に人が集まるような環境整備をベースに、営業活動ができるスキームを作って収入を得られるような利活用も検討**できるとよい。
- 【その他の社会実験について】
- ・市街地（鷲温泉付近）で年度内に人吉市が社会実験を予定している。
 - ・青井地区は整備を優先し、整備後使い方を検証する社会実験を想定している。
 - ・**河川オープン化を目指すにあたり、いろいろな社会実験が必要**。
 - ① 日常的利用や社会貢献（歴史・文化継承、環境学習等）に関する社会実験
 - ② 営利目的の社会実験
 - ③ 水防災（川の安全教室や被災体験講和等）に関する社会実験
 - ④ スキーム構築のための社会実験
 - ⑤ ハード整備につながる社会実験
 - ・実行委員会が実施するしないにかかわらず、社会実験のアイデアを出していただきたい。
 - ・**実行委員会以外の人や団体、事業者等から社会実験のアイデアを提案できる場の提供（仕組み）がある**とよい。

【参考】

都市・地域再生等利用区域: 河川敷地占用許可準則の第二十二により規定。河川のオープン化に伴い、河川区域内で営業活動を行う場合には、河川管理者が都市・地域再生等利用区域を設定し範囲を明確にするとともに、当該施設の占用主体を定める必要があります。（略して「特区」と呼ぶことがあります。）

河川区間のオープン化: 河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有する者ですが、「河川をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したい！」という要望の高まりを受け、平成23年度に河川敷地占用許可準則を改正し、一定の要件を満たす場合、営業活動を行う事業者等の方も、河川敷地の利用が可能となりました。これを「河川空間のオープン化」といいます。

(1) これまでの取り組みについて（前回協議会以降の報告）

■令和6年度第2回実行委員会（令和6年10月10日）

実施概要

- 日 時: 令和6年10月10日（木）13時30分～15時00分
場 所: 人吉市役所 202会議室
会次第:
1. 開会
2. 議事
 (1) 目的とスケジュール
 (2) 報告事項
 1) 前回（R6.5.9）の実行委員会の振り返り
 2) 社会実験の実施報告
 3) 登録証伝達式報告
 (3) 今後の実行委員会について
 (4) 中川原公園について
 1) 中川原公園の設計について
 2) 中川原公園の今後の予定について
3. その他
4. 閉 会

協議内容

- ・まちなかランドデザイン推進方針及び推進体制を説明するとともに、推進体制の中でのかわまちづくり協議会、実行委員会の位置づけについて説明し、今後の実行委員会の活動についてご理解をいただいた。委員からの意見は右記参照。
- ・中川原公園の整備内容について説明し意見交換を行った。主な意見は右記参照。
- ・中川原公園の整備方針の承認は有村会長に一任する。必要に応じ実行委員会の開催を検討する。

所 属	出 欠
人吉商工会議所 青年部	○
人吉温泉観光協会	○
人吉温泉旅館組合	○
球磨川ラフティング協会	欠
球磨川漁業協同組合	○
球磨川くだり株式会社	欠
きじ馬スタンプ協同組合	欠
※事務局: 人吉市4、熊本県1、国土交通省八代河川国道事務所2	



■まちなかランドデザイン推進体制における「かわまちづくり実行委員会」の位置づけについての意見

・わまちづくりの体制がまちづくりの体制に移行されたのであれば、実行委員会も解散してよい。個人でタスクフォースに参加してもよいし、組織が複雑化するより、シンプルにしていって方がよい。
→かわまちづくり計画が登録され、これからがスタートと考えられる。**かわまちづくりのコンセプトにのっとりた整備**が始まる段階なので、これまでかわまちづくり計画に深く関わってきた**実行委員会の立場でタスクフォースへの参加などで関わっていただき、かわまちづくりの立場から意見を頂きたいと考えた結果、実行委員会は存続することを決定した**。被災後、多くの協議体が立ち上がって複雑化しており、シンプルにしていきたいと考えているので、将来的に、タスクフォースに吸収される可能性はある。デザイン会議も始まったばかりなので、当面はこの体制でいきたいと考えている。

・今後、かわまちづくりでは、実行委員会が社会実験を行うというのではなくて、あくまで整備のイメージを議論していくということか
→基本的に社会実験はタスクフォースが行う。その中に「球磨川アクティビティ」というタスクフォースがあるが、この「**球磨川アクティビティ**」は、**実行委員会に関係してくる可能性がある**。青井地区や城見庭園など、かわまちの対象ではあるが、**基本的にはタスクフォースが主体となって社会実験を行う**予定である。

→今後は、タスクフォースが主体となって、実行委員会に協力要請の可能性はあるということか。

→**プレイヤーとして、メンバーとしての参加**と考えられる。かわまち事業の関りは、例えば、中川原公園でいうと、中川原公園のタスクフォースがあって実動しているが、護岸の整備を行うのは国であり、その整備はかわまち事業にのっとり実施されている。このような形でかわまち事業が関連している。

■中川原公園の整備内容についての意見

【護岸に関する意見】

- ・自然になじむものでも人工的っぽいものでもよいので、利用者を第一に考え、（水辺に）**行きやすさ、メンテナンスしやすさ**に振り切った方がよい。
- ・コンクリートブロックの護岸は勾配によっては、**網を持って降りるとき危険**を感じる。山石のようながった石もケガをする可能性があるので、できれば**丸い石**を使ってほしい。

【中川原公園の今後の検討に関する意見】

- ・**学生（中学生、高校生等）の意見**も聞いてみてほしい。
- ・鹿が中川原公園の下流の草藪に入っていくのを見た。鹿の爪痕が残っている。草藪がなくなると、そういう鹿の姿も見れなくなる。
- ・釣り人気は高く、今後、中川原公園で釣りが可能になるのであれば釣り人のために**駐車場の整備**も検討してほしい。
- ・**予算や法的な面での制限をクリアした完成形（事務局案）**を示してほしい。

【その他】

- ・右岸側は、途中から川に入っていく階段がなくなる。**青井阿蘇神社付近の堤防道路から川に近づく階段は**、降りられないようになっているが、急勾配の上、幅も狭い。**今後改善を検討してほしい**。

■中川原公園の整備方針の検討について

- ・中川原公園の整備方針の承認は有村会長に一任する。実行委員への確認事項が生じた場合、確認方法、実行委員会開催の必要性について有村会長に相談する。

(1) これまでの取り組みについて (かわまちづくり計画書手交式)

■手交式開催報告(令和6年4月25日)

令和6年4月25日(木)にかわまちづくり計画書の手交式を開催しました。
松岡市長に、これまでのかわまちづくりの経緯や内容を説明した後、かわまちづくり協議会会長代理 大山委員と実行委員会会長 有村会長から「かわまちづくり計画書」を松岡市長に手渡しました。
この計画書をもとに、人吉市が「かわまちづくり登録」申請を行いました。



かわまちづくり計画を松岡市長へ説明



大山委員から計画書を手交



有村会長から計画書を手交



人吉市ホームページ
<https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/toppage/jyuyo/2348636>



かわまちづくり計画書 概要版



かわまちづくり計画書

■登録証伝達式開催報告(令和6年8月8日)



八代河川国道事務所飯島所長から松岡市長へ登録証が手渡されました。

球磨川・人吉地区かわまちづくり協議会、同実行委員会の皆様と記念撮影を行いました。

今後はこの計画を基に、具体的な整備プランや利活用についての検討を重ね、事業を進めていきます

かわまちづくり計画とは

河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、加えていく計画です。市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実用性の高い水辺の整備・利用に取り組むものとなっています。

国土交通省に市町村長等が申請することにより、登録要件を満たすことができれば、登録されます。

【かわまづくり引計画について】
 津波川・入富地区かわまづくり計画書(変更) (PDF 15.67KB)

【これまでの取組】

[令和4年度第1回かまもつくり協議会](#)
[令和4年度第2回かまもつくり協議会](#)
[令和5年度第1回かまもつくり協議会](#)
[令和5年度第2回かまもつくり協議会](#)
[令和5年度第3回かまもつくり協議会](#)
協議に、入会地区かまもつくり計画書の承認
かまもつくり社会実験7川の安全教室～桂川を渡り～



かわまちづくり申請内容

(1) これまでの取り組みについて (社会実験)

■川の安全教室(令和6年7月21日)

- ・令和6年7月21日(日)9:00～12:00に中川原公園・胸川合流点付近で人吉かわまちづくりの社会実験「川の安全教室」を開催し、中川原公園及び胸川合流点付近の利活用や整備についてのニーズの把握を目的としてアンケートを行いました。
- ・中川原公園で陸上安全講習後、ライフジャケットとヘルメットを着用し胸川合流点付近で川に入っの安全講習を行いました。また、安全対策を強化するとともに、今後の川遊びの指導者育成に繋げることを目的として、事前にスタッフに向けた安全講習も実施しました。
- ・親子9組22名の参加があり、ライフジャケットの重要性の再認識や安全な救助方法、助けてもらう方法等を楽しみながら学ぶ様子が見られました。

実施概要

名称	川の安全教室～球磨川を楽しもう！～	実施主体	球磨川・人吉地区かわまちづくり実行委員会
開催日時	7月21日(日) 9:00～12:00 (予備日 7月28日(日))	実施場所	胸川合流点付近
参加費	500円／1人(保険料500円込み)	雨天時	延期
対象	小学生高学年(5, 6年生) ※保護者同伴(必須) 弟妹の安全教室の参加は不可。保護者責任で陸上待機。 (その場合は、川での安全教室は子どものみ参加) 申込時に弟妹の同伴状況を確認する。	募集・申込(定員)	小学校へチラシ配布(QRコード付)、WEBで申込 先着順 子ども20名～30名
目的	・ <u>川に対する知識や技能を身に付ける</u> ことで、 <u>安全に楽しく水辺で活動</u> できるようになるとともに、より <u>川を身近に感じ大切に思う気持ちを養う</u> 。 ・かわまちづくり整備対象箇所で開催することで、 <u>整備プランの具体化</u> 及び今後の利活用・維持管理の実現性、継続性を図る。		
内容	【川の安全教室】 ・ライフジャケット浮遊体験や背浮き、身の回りにある浮く物を利用した落水時の対処法などの実体験を通して、水辺の活動において「自分の命は自分で守る(セルフレスキュー)」意識や知識、技能を身に付ける。 【水浴場】 ・川の安全教室で身に着けた知識や技能を踏まえ、安全に川遊びを楽しむ。 【アンケート】 ・参加者へかわまちづくり事業を周知するとともに、 <u>アンケートを実施</u> する。		
位置図			

広報



チラシ



人吉市HP



人吉かわまちづくり
Instagram

(1) これまでの取り組みについて (社会実験)

■川の安全教室(令和6年7月21日)

実施状況



受付の様子



かわまち事業の説明



駐車場



陸上での安全講習



正しいライフジャケット着用講習



中川原公園から胸川合流点付近へ移動



河岸で安全講習



ライフジャケットを使った浮遊体験



助け方・助けられ方講習



水浴場 (ペットボトル筏)



水浴場 (ラフトボート)



参加者とスタッフで集合写真

安全管理



安全管理の強化を目的として、スタッフを対象に事前講習会を開催



バックアップのため下流側にロープを設置し、スタッフ数名とラフトボート1隻配置

かわまちづくり事業の周知



かわまちづくり事業の周知を目的として、かわまち説明パネルの設置し、参加者へかわまちづくり事業を紹介



トイレ整備のニーズを探ることを目的として仮設トイレを設置

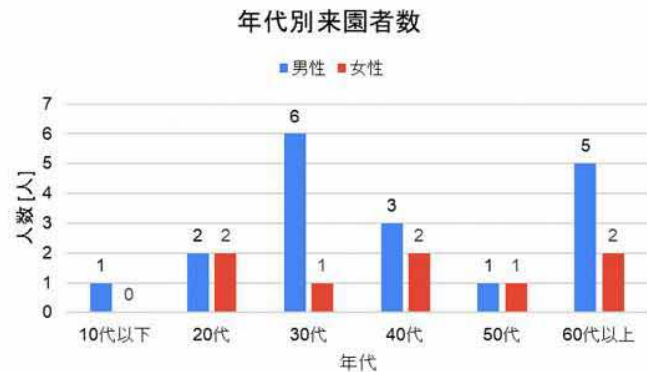
周囲に周知するために、中川原公園内のほか、人吉大橋や胸川付近にものほりを設置

(1) これまでの取り組みについて (社会実験)

■中川原公園の利用に関する社会実験参加者アンケート結果 (回答 26件)

1 性別と年代を教えてください。

全体的に男性利用者が多かった。



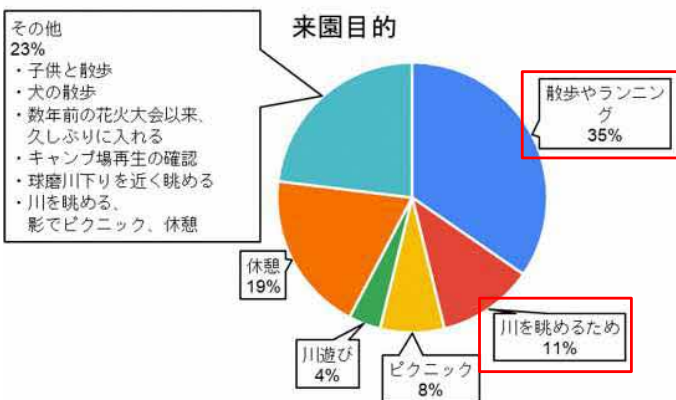
2 中川原公園を利用した時間帯を教えてください。

早朝および13時過ぎ頃の利用者が多かった。



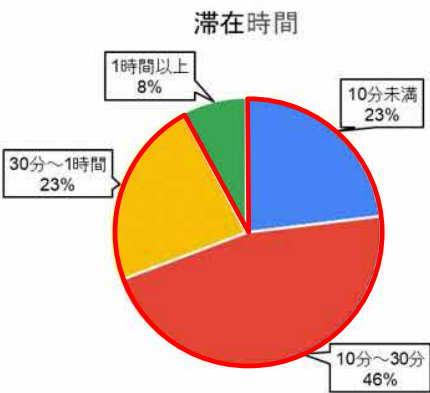
3 中川原公園を訪れた理由を教えてください。

散歩やランニング、休憩、川を眺めるためなど、日常利用が多かった。



4 中川原公園に滞在した時間を教えてください。

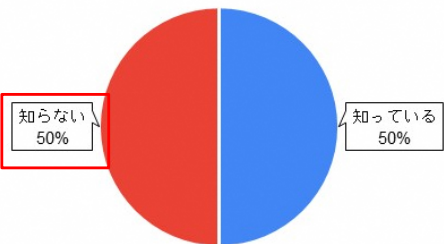
9割以上が1時間未満の利用であった。



5 令和2年7月豪雨以降に洪水時の水位を下げるために中川原公園の地盤を掘り下げて、公園がおおむね年に1回以上浸水しやすくなったことをご存じでしょうか。

半数の利用者が知らないと回答。

公園が浸水しやすくなったことを知っているかどうか



6 中川原公園が年に1回浸水するとしてお答えください。公園内にあったらいいと思う施設を教えてください。

駐車場や水飲み場を希望する回答が多かった。



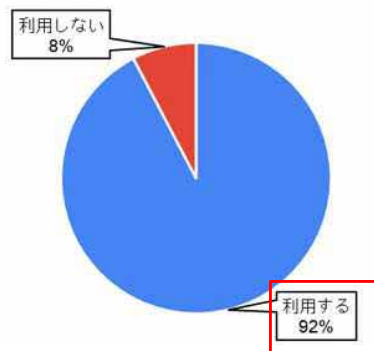
(1) これまでの取り組みについて (社会実験)

■中川原公園の利用に関する社会実験参加者アンケート結果 (回答 26件)

7 中川原公園にトイレがない場合、中川原公園を利用されますか。

9割以上が、トイレがなくても利用すると回答。

トイレがない場合の公園利用



8 中川原公園を今後、どのように利用したいと考えていますか。

散歩やランニング、休憩場などの日常利用を望む回答が多かった。BBQやキャンプ、川遊びなどのレジャー利用を希望する回答も一定数見られた。

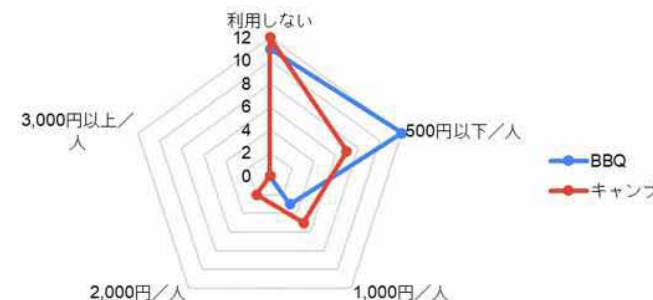
今後の利活用希望



9 有料でBBQもしくはキャンプを中川原公園でできるとした場合、いくらまでなら利用したいと思いますか。

BBQについては1,000円以下で、ほとんどが500円での利用を希望していた。キャンプについては2,000円以下で、500円から1,000円での利用を希望する回答が多かった。

BBQ、キャンプの利用料金設定の希望



10 中川原公園の今後の利活用や整備に対するご意見をお聞かせください。(回答 20)

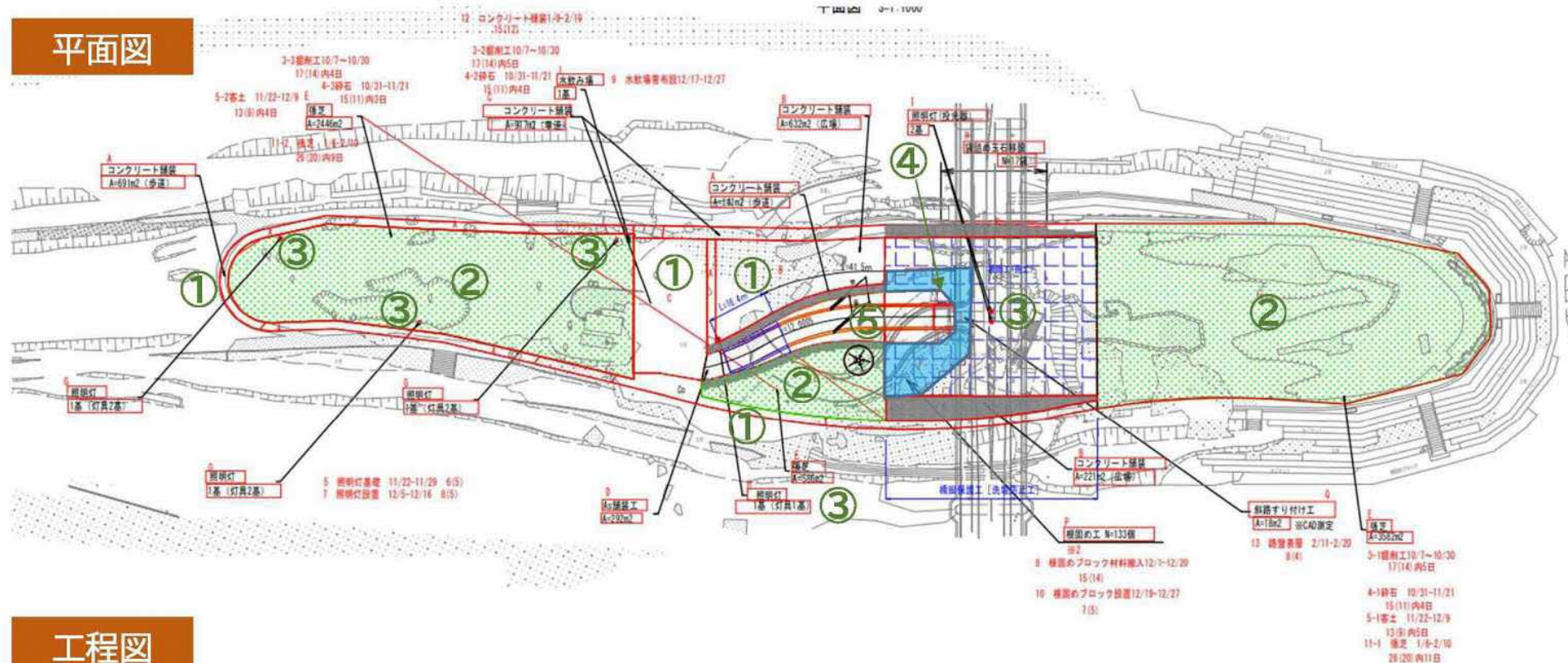
- 以前の中川原公園では犬にリードをつけずに放して遊ばせている人が何人もいたため、子供と安心して遊ぶことができなかった。放し飼いは禁止してほしいです。
- 中川原公園は、災害前まで、犬の散歩に行くことで沢山の友達が出来ました。
- ランニングできるようにコースを作って、キャッチボール出来るように芝生や、川遊びができるようにちょっとした階段ができてくれると助かります。
- 今回の開放について意味がわかりません。せっかく解放するならばイベントをしないと誰も来る人はいないと思います。
- 先日駐車スペースの作成されている様子を見かけました。財政が厳しいと思いますが頑張ってください。今後素晴らしい公園になると思います。
- 散歩やBBQで利用したいので水と樹木をお願いします。
- 地元の方が利用しやすい環境にしてください。
- 当時のキャンプ場がお気に入りでした。有料でも良いので是非再建してください。待ってます。
- 水没することを考慮して中川原公園付近の高台にトイレや水のみ場等の水周りを整備してほしい。
- 転勤で人吉市が近くなり、球磨川沿いの素晴らしい景観に「こんな素敵な所があったんだ」と嬉しくなりました。中川原公園はたまたま球磨川沿いのカフェに行こうと出かけた際に見つけ、もしかして車で行けるのかな？と立ち寄り休憩させてもらいました。バーベキューなど出来れば最高なのでしょうが、やはりルールを守れない方が一定数居ることを考えると、他県ではありますが、守りたい綺麗な球磨川や景観などが壊される事は胸が痛くなります。以上の事を踏まえ、上記のような回答をさせて頂きました。歴史や文化、また球磨川等の自然もある貴重な町並みの復興を願っております。
- 台風10号で浸水した後に行きました。細かい砂(泥の乾いたもの)が舞い上がって少し困ったので、その処理は課題かと思いました。あと、橋の下は日陰で過ごしやすですが、鳩の羽や糞が不衛生なので、その対策をして欲しいと思いました。

- 台風の浸水後で泥だらけでしたので、簡易的な手洗い場又は水道があるとありがたいと思いました。
- 川に囲まれて寛げる貴重な場所で、車なしで県外から来ても市内で川に触れられる数少ない場所です。ぜひこれからも手を入れすぎることなく、球磨川を楽しめる場所であって欲しいと思います。
- 水没することが前提であれば周囲の黒いネットの足は不要で景観も悪いと思います。
- 観光で駐車場を探されている方もよく聞くので、有料でも開放するのもいいと思います。
- アクセスするための駐車場が遠く徒歩利用では使用しづらいです。近隣の有料駐車場に止めてまでは行かないので、公園内に駐車場は必須です。ただし、景観やゴミ等の問題から車中泊は禁止にした方がよいと思われます。
- 川へ降りるための、ルートを整備していただきたいです。
- 子供たちが思いっきり遊ぶことのできる遊び場にしてほしいです。人吉市には小さい子供から中高生までが遊べる公園が少ない気がします。子供たちが遊べる環境を作ってください。
- 東京から帰省して、開放していると知り懐かしくて行きました。都内だこういうところはBBQするにも少しでも利用料取ったりするので、とっていいと思います。田舎の人はそういうの慣れていないとか、元々無料だと不満が出るかもしれませんが、維持管理に必要なところはとっていい(関係ないですが駅前のSLの場所も無料で驚きました、100円でも取ったほうがいいです)。水没するなら、性質的に普通の公園より遊水地公園が参考になるのではないかと思います。横浜にいいところがあったのでぜひいろんな例を参考に公園を作ってください。また子どもを連れて帰省したときに楽しく遊べる場所になっていることを期待しています。大変だと思いますが頑張ってください。
- 前のようにキャンプなどできるようにして欲しいです。

(1) これまでの取り組みについて (中川原公園の進捗状況)

■中川原公園の災害復旧の進捗状況

工程図(中川原公園災害復旧工事3工区)



工程図

工種

①園路

②芝生

③サービス施設

④根固めブロック

⑤斜路

10/7



(1) これまでの取り組みについて（中川原公園の進捗状況）

■中川原公園の護岸整備、管理用通路(国整備部分)について 【現在の状況】



中川原公園盤下げ工事直後(2023年3月10日撮影)



中川原公園の現在の状況(2024年7月26日撮影)

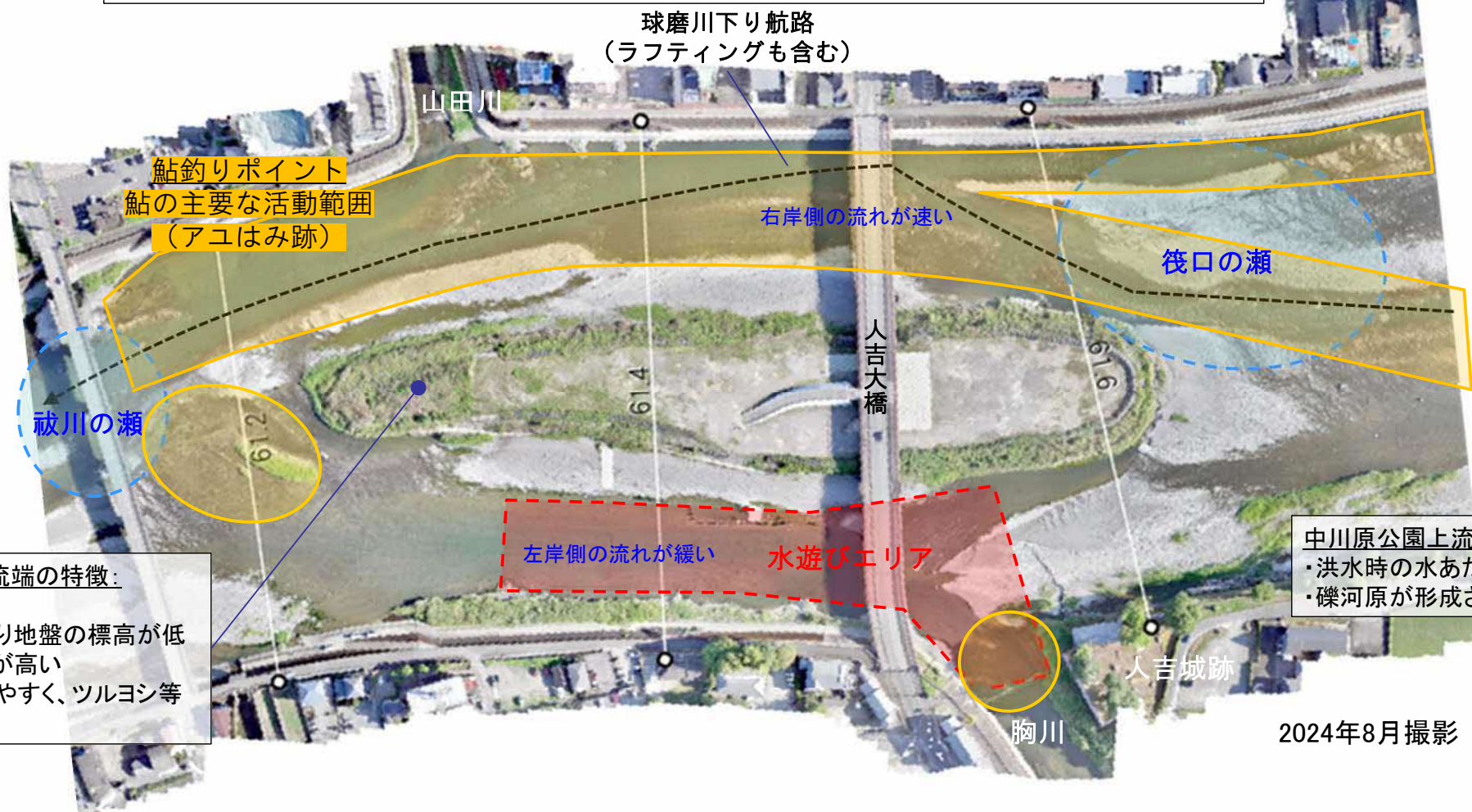
(1) これまでの取り組みについて（中川原公園の進捗状況）

■中川原公園の護岸整備、管理用通路(国整備部分)について

【中川原公園周辺の状況】

中川原公園右岸側の特徴:

- ・市街地から中川原公園と人吉城跡を眺める風景が絶景ポイント
- ・球磨川の流れが早く、球磨川くだりが運行しており、ラフティング、アユ釣り等の利用に適している
- ・礫河原にはツルヨシ等植物が生育



中川原公園上流端の特徴:

- ・洪水時の水あたりが強い
- ・礫河原が形成されている

2024年8月撮影

中川原公園左岸側の特徴:

- ・球磨川の流速が緩く、環境学習・カヌー・水遊び等の利活用に適している
- ・礫河原にはツルヨシ等植物が生育

(1) これまでの取り組みについて(中川原公園の進捗状況)

■中川原公園の護岸整備、管理用通路(国整備部分)について

【地元住民の中川原公園に関する意見】

※これまでかわまち会議、中川原WS等で収集した意見より抜粋

利活用に関する意見

➤日常利用

- ・親水、球磨川、自然にふれあう空間、子供が川で活動できる公園
- ・誰もが集えて自由に使える未来につながる一つのまちのような公園
- ・自然を感じられる安心安全な憩いの場
- ・日常的に人がいる工夫(ラジオ体操、川を眺めながら食事 など)
- ・ウォーキングできる通路、公園内を回遊する通路
- ・市民・宿泊者の散歩コース
- ・子どもの遊び場(遊具、築山)
- ・中川原公園から城跡公園へ飛び石を渡って散歩

➤アクティビティ利用

- ・船着き場(梅花の渡し+中川原川下り)
- ・キャンプ、オートキャンプ、BBQ、アウトドア、カヤック、鮎釣り、川遊び
- ・バイクツーリングの拠点
- ・グラウンドゴルフ
- ・スケボーなどアーバンスポーツ

➤イベント利用

- ・花火大会時の有料観覧席
- ・マルシェ
- ・イベントや競技会場(ラジコン大会、ドローン大会)
- ・植木市(公園で植木を育てる)
- ・出店(テントサウナ貸出等)、商業利用
- ・お祭り

➤人が集まる利用(しかけ)

- ・川下りと絡めた回遊性構築
- ・お城が見える仕掛け(AR、VR)
- ・球磨川大噴水、慰霊碑
- ・有料駐車場
- ・人吉大橋にミスト機能
- ・鮎やな(環境教室等にも利用)
- ・冬季も楽しめる場所としての利用

景観に関する意見

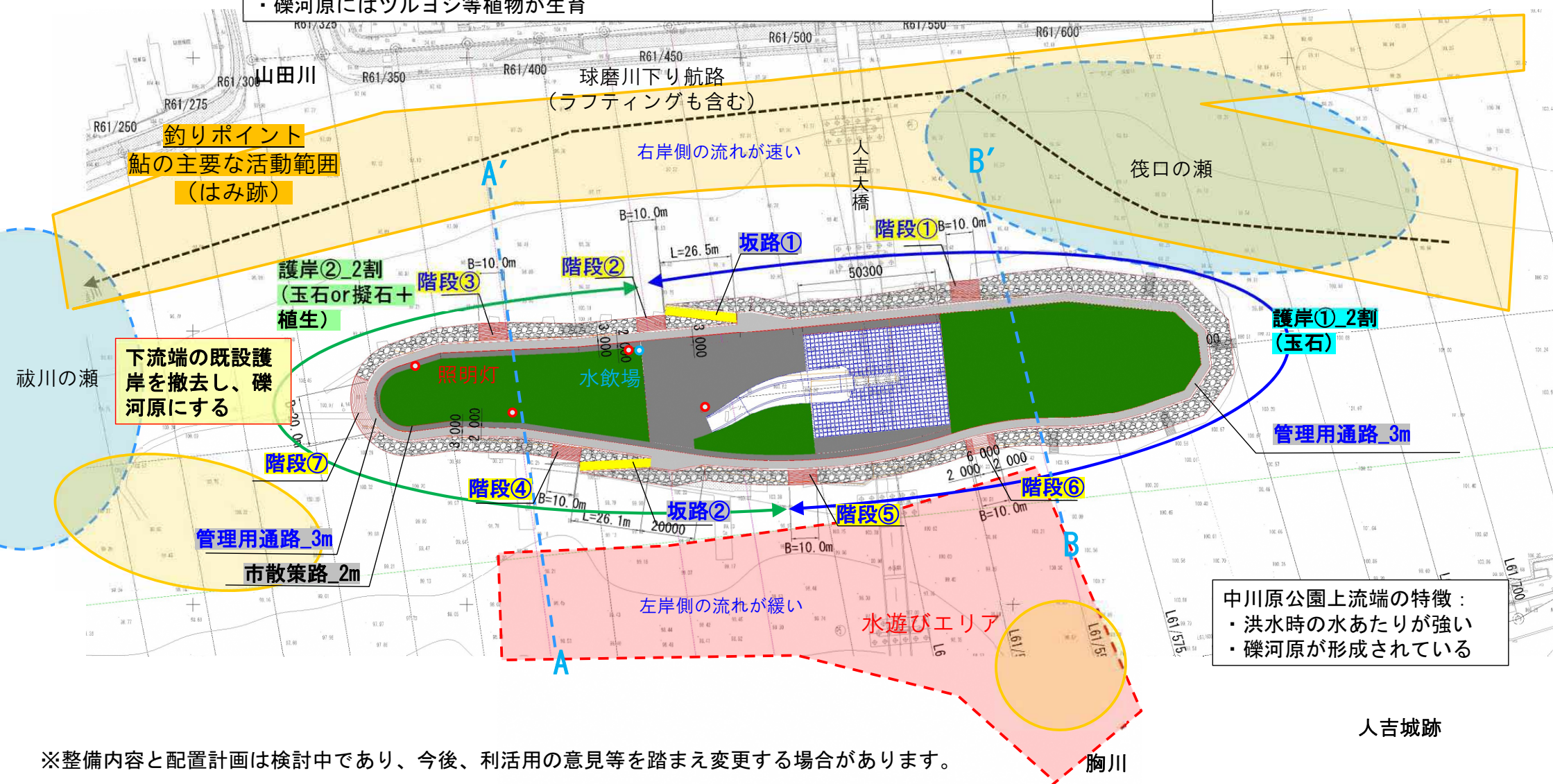
- ・自然景観に馴染む護岸
- ・人吉の観光スポットに相応しい景観
- ・自然に触れられる、芝生や木々、植物のある風景
- ・下流端が雑草ぼうぼうで見通しが悪い
- ・歴史を感じられる
- ・夜間景観
- ・川沿いから見た中川原の景観整備
- ・芝桜など季節を楽しめる工夫
- ・楽しみながら散歩できる景観
- ・トイレや駐車場は橋の下のような景観を阻害しない場所に配置
- ・城跡公園と一体的な景観の維持
- ・城跡公園の角櫓や石垣等を眺める展望台や説明パネル
- ・袋詰めが川の音を遮断し、雄大な河川景観を邪魔するため撤去
- ・袋詰めが植物の繁茂に繋がるので残してほしい

（１）これまでの取り組みについて（中川原公園の進捗状況）

■利活用を踏まえた整備内容、配置計画(案)※

中川原公園右岸側の特徴：

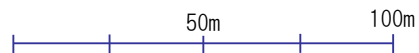
- ・市街地から中川原公園と人吉城跡を眺める風景が絶景ポイント
- ・球磨川の流れが早く、球磨川くだりが運行しており、ラフティング、鮎釣り等の利用に適している
- ・礫河原にはツルヨシ等植物が生育



※整備内容と配置計画は検討中であり、今後、利活用の意見等を踏まえ変更する場合があります。

中川原公園左岸側の特徴：

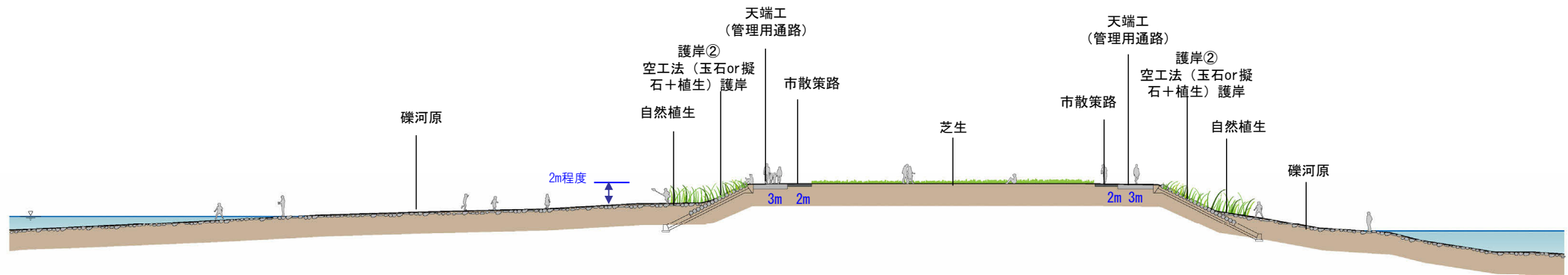
- ・球磨川の流速が緩く、テントサウナ・環境学習・カヌー・水遊び等の利活用に適している
- ・礫河原にはツルヨシ等植物が生育



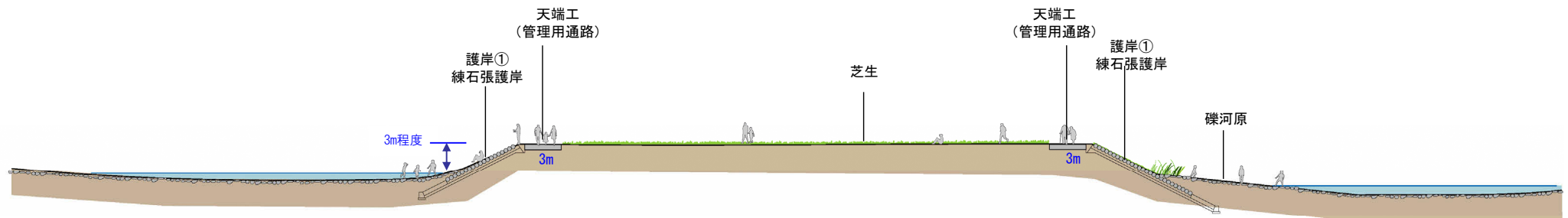
(1) これまでの取り組みについて (中川原公園の進捗状況)

■ 利活用を踏まえた整備内容、配置計画(案)

A-A' (公園下流側)横断イメージ



B-B' (公園上流側)横断イメージ



場所(地形や洪水攪乱頻度等)により礫河原に植生が定着しない可能性がある

※ パースはイメージです。今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

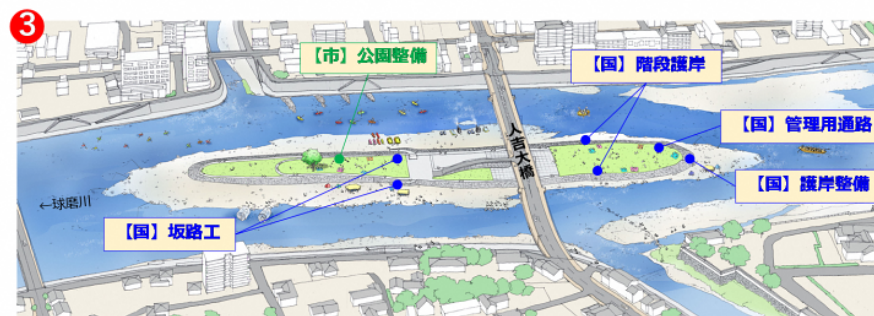
【参考】球磨川・人吉地区かわまちづくり計画の内容

整備内容

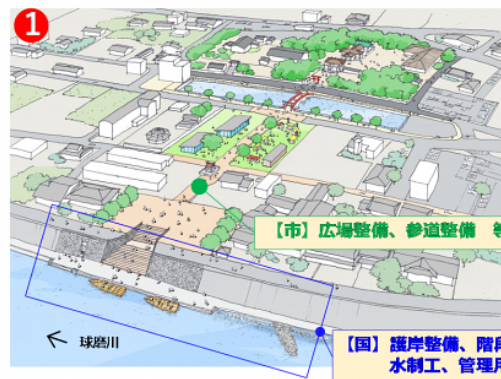
国：護岸整備、階段護岸、水制工、坂路工、管理用通路、床固工、既存階段の改修、管理用通路の改良（舗装等）

県：堤防整備、護岸整備、階段護岸

市：広場整備、参道整備、公園整備、庭園整備、道路整備、案内看板、照明 等



※護岸整備等にあたっては多自然かわづくりを推進します。



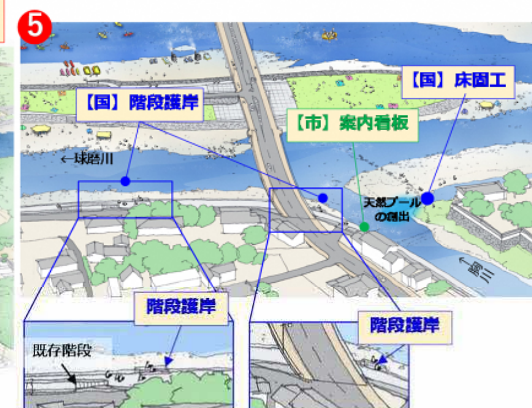
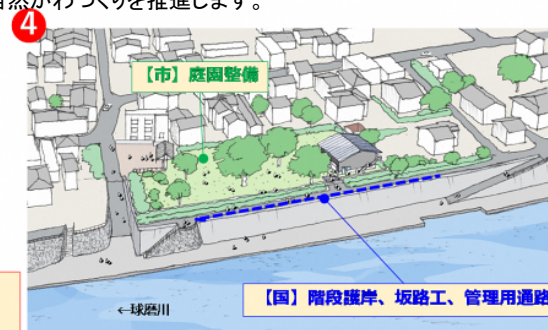
※整備等にあたっては生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に取り組みます。

1 青井阿蘇神社と球磨川の一体的な観光拠点
(青井阿蘇神社～球磨川)
【国整備】護岸整備、階段護岸、水制工、管理用通路
【市整備】広場整備、参道整備 等

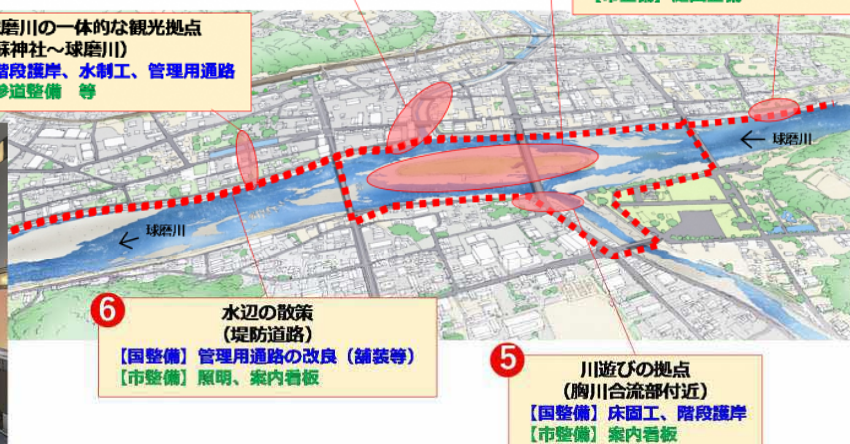
2 山田川と市街地をつなぐ賑わいの場
(山田川)
【国整備】既存階段の改修(山田川合流部付近)
【県整備】堤防整備、護岸整備、階段護岸
【市整備】道路整備

3 市民の憩いの場
(中川原公園)
【国整備】護岸整備、階段護岸、坂路工、管理用通路
【市整備】公園整備

4 水辺拠点・地域交流の場
(城見庭園)
【国整備】階段護岸、坂路工、管理用通路
【市整備】庭園整備



※整備等にあたっては生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に取り組みます。



※ パースはイメージです。今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。